Conputed Tomograpy
― Ｃ　Ｔ　検査をお受けになる患者さんへ ―

Q1.　ＣＴ検査について

●ＣＴは、Ｘ線を 360 度方向からスキャンし、その透過の度合いを
コンピュータ処理して身体の断面像を撮影する検査です。

●当院にはＣＴ検査用として「２５６列と１２８列のマルチスライスＣＴ」が
２台設置されています。従来のヘリカルＣＴと比べさらに精密な撮影ができ
横断面だけでなく、いろいろな断面の三次元再構成が可能です。

●通常のＣＴ検査では、被ばくによる有害事象はありません。
また、ペースメーカ及びＩＣＤ留置の方は、本体にＸ線が当たると正常な動作に影響を与える可能性があると報告されています。
あとに述べる確認項目を担当の職員と一緒にご確認下さるようお願いいたします。

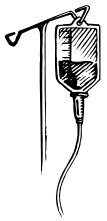
Q2.　実際の検査では？

●検査の時間は、部位や種類にもよりますが、概ね５分から１５分程度です。
部位などによっては着替えの必要がないこともありますが、ほとんどの撮影においては検査着に着替え、ＣＴ装置の寝台に仰向けに寝ていただきます。
心臓の撮影などでは心電図を装着していただくこともあります。

●撮影はガントリーという大きな輪の中を寝台ごと移動して行われます。
装置の案内に合わせ、数秒から１０秒ほどの“息止め”をしていただきます。
寝台移動(撮影)中は、装置と接触などしないよう、身体を動かさないでください。
インターホンで検査担当者といつでも会話ができます。

●何か判らないこと・不安等が有りましたら、遠慮なくお伝えください。

Q3.　造影剤等を使った検査の場合



●検査の精度や情報を向上させる目的で造影剤を使用することもあります。

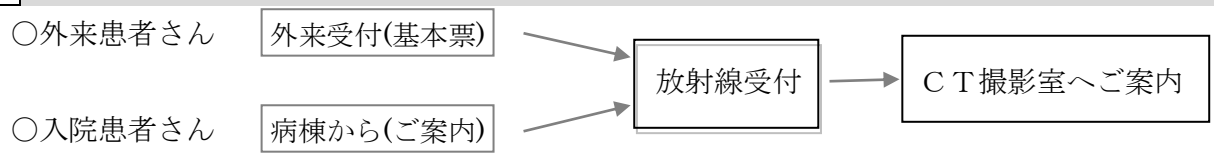
●造影剤を使用する方は、あらかじめ担当医から造影剤投与に関する説明があります。　“今一度ご確認をお願いします。”

●造影剤は、腕の静脈から注射し、専用注入器で注入します。その後適切なタイミングで撮影します。
注入中は造影剤の影響で全身が熱く感じますが、正常の反応です。

●はじめは担当者がそばにいます。
針を刺した部分に少しでも痛みや違和感のある時は伝えてください。

●またその後の撮影中でも、針先や、体調に変化を感じたら検査担当者に伝えて下さい。すぐに対処をします。

Q4.　検査当日の流れ



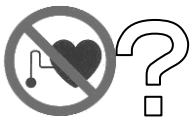
岩手県立中部病院　TEL 0197-71-1518

－ＣＴ検査を受けるにあたっての注意事項－

1. 予約の際に

次に該当する方は必ず事前にお知らせください。

●**心臓ペースメーカ、植え込み型徐細動器（ＩＣＤ）を使用されている方**



Ｘ線束照射によりペースメーカの動作に不具合を生じた報告があります。
当院では、ＣＴ検査前にペースメーカ等の種類を確認し必要な場合は
設定変更を行ってから撮影します。
上記装着している方は、事前にお申し出のうえペースメーカ手帳を必ず持参して下さい。
（ペースメーカを含まない部位のＣＴ検査、および一般のＸ線検査は問題ありません。）

●**リブレ等の持続グルコース測定器、インスリンポンプを使用されている方**

装着したまま検査を受けられない場合があります。検査時に取り外す場合がありますので、事前に該当医療機関と相談のうえ来院してください。

●**妊娠中、またはその可能性のある方**

原則的にＣＴ検査を行うことはできません。事前にお知らせください。
止むを得ず検査を必要とする場合は､検査による利益とリスクを主治医とよくご相談ください。

●**体内に金属製の医療器具や金属片のある方**

撮影する部位に大きな金属があると、画像に影響が出ます。
検査のやり方などが変更になる事も考えられます。事前にお知らせください。

●**乳幼児等や、なんらかの理由でじっとしていられない方**

撮影は短時間ですが、それでも動きが多いと診断に支障があり、無駄な被ばくも増えます。
睡眠導入のためお薬の投与が必要になることもあります。
乳幼児の場合は特に撮影の時間に合わせて眠り易くなるような配慮をお願いします。

2. 検査当日

●金属類は検査の妨げになります。撮影部位付近の金属は可能な限りはずしていただきます。

・ヘアピン等の金属製の髪止め・金属の付いたカツラ・眼鏡・補聴器
・入れ歯・ピアス・ネックレス・腕時計・指輪等の貴金属類
・湿布・カイロ・エレキバン・その他、撮影部位付近の金属、ボタン類

岩手県立中部病院　TEL 0197-71-1518